



試験成績証明書

依頼者 株式会社 ワールドパーティー 殿
品名 26SS_UV103WIDHAT66遮熱検査_15 1点
品番 UV103WIDHAT66

試験項目 断熱性試験 (赤外ランプ 60℃法)

2025年9月10日提出の試料に対する試験結果は下記の通りです。

2025年10月1日

一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター

大阪試験センター

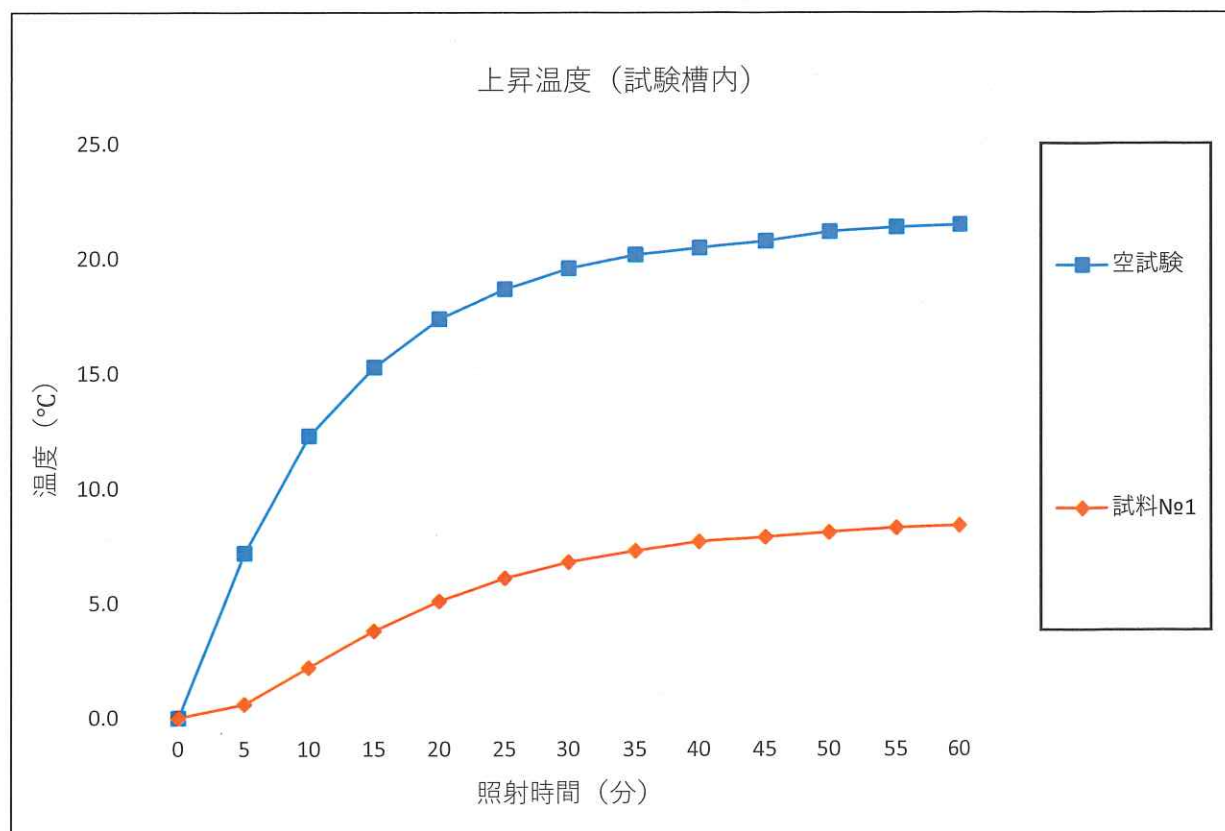
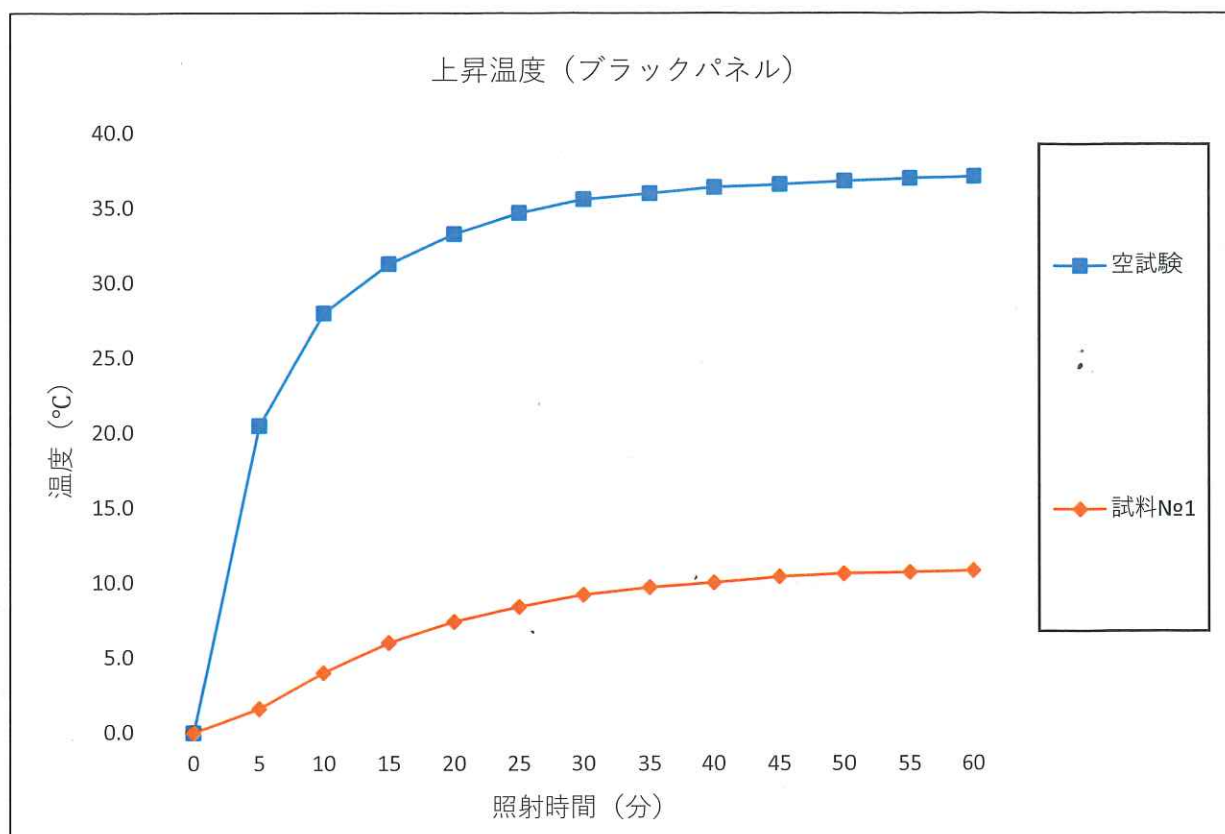


記

[試験結果]

照射 時間 (分)	上昇温度 (°C)			
	空試験		試料No.1	
			UV103WIDHAT66	
	ブラックパネル	試験槽内	ブラックパネル	試験槽内
0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	20.5	7.2	1.6	0.6
10	28.0	12.3	4.0	2.2
15	31.3	15.3	6.0	3.8
20	33.3	17.4	7.4	5.1
25	34.7	18.7	8.4	6.1
30	35.6	19.6	9.2	6.8
35	36.0	20.2	9.7	7.3
40	36.4	20.5	10.0	7.7
45	36.6	20.8	10.4	7.9
50	36.8	21.2	10.6	8.1
55	37.0	21.4	10.7	8.3
60	37.1	21.5	10.8	8.4
上昇 温度差 (°C)			26.3	13.1
断熱 効果率 (%)			70.9	60.9
目付 (g/m ²)			265+184+118	

[グラフ]



[試験方法]

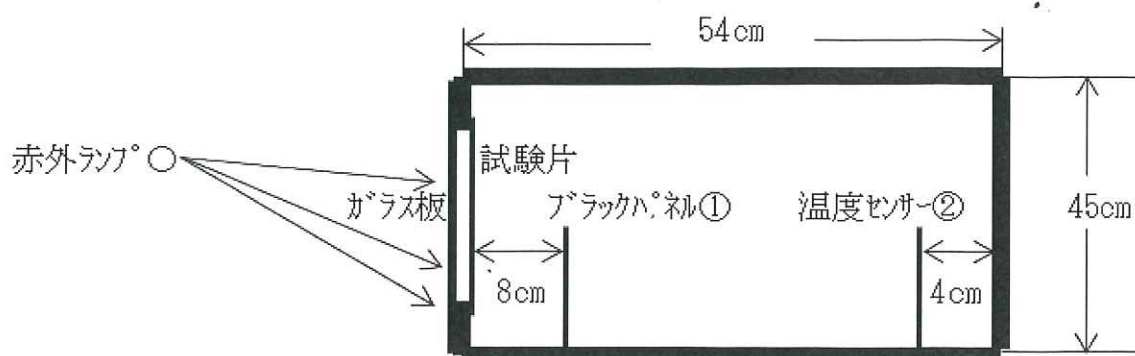
断熱性試験（赤外線ランプ 60℃法）

下図の装置に約50cm×40cmの試験片を吊るし、ガラス板より約50cm離れたところに赤外線ランプを設置し、試験片の表側より8cmの位置にブラックパネル①、ガラス面反対側の壁面より4cmの位置に温度センサー②を設置する。赤外線ランプを60分間照射し、5分毎にブラックパネル温度及び試験槽内温度を測定する。また、試験片を吊るさない空試験も実施する。

- ・断熱効果率は、空試験の最大値と試験片試験の最大値から下記の式で求める。

上昇温度差（℃）＝空試験の最大上昇温度（℃）－試験片試験の最大上昇温度（℃）

断熱効果率（％）＝（空試験の最大上昇温度－試験片試験の最大上昇温度）／空試験の最大上昇温度×100



試験装置のサイズ 54×54×45cm(0.131m³)

・測定条件

環境温度：25.0±1.0℃

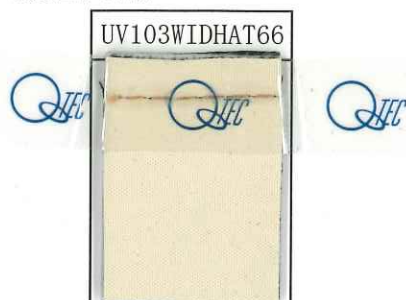
初期温度：ブラックパネル 25.0±0.5℃

試験槽内 25.0±0.5℃

有効空試験条件：ブラックパネル最大上昇温度 37.0±0.5℃

試験槽内最大上昇温度 22.0±0.5℃

[提出試料]



※照射面を上にして貼付。



試験成績証明書

依頼者 株式会社 ワールドパーティー 殿
品名 26SS_UV103WIDCAP66遮熱検査_15 1点
品番 UV103WIDCAP66

試験項目 断熱性試験 (赤外ランプ 60℃法)

2025年9月10日提出の試料に対する試験結果は下記の通りです。

2025年10月1日

一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター

大阪試験センター

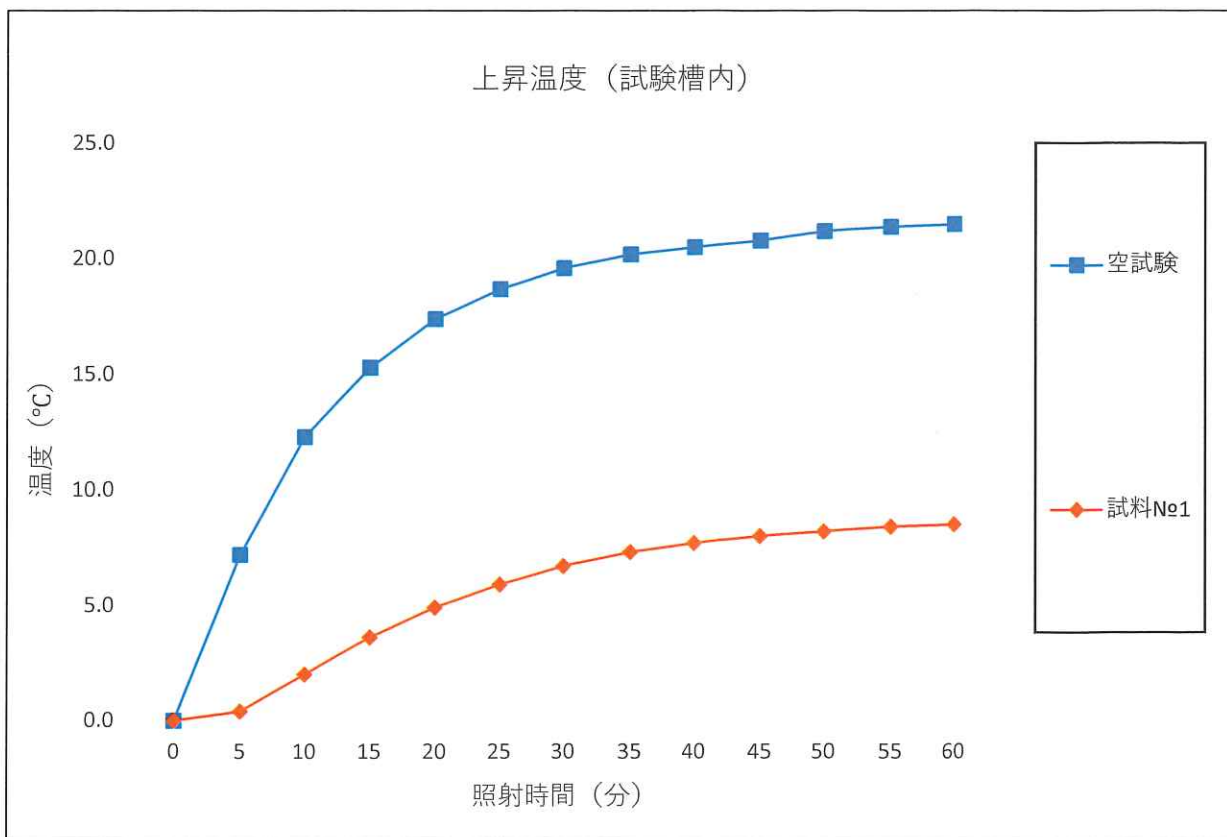
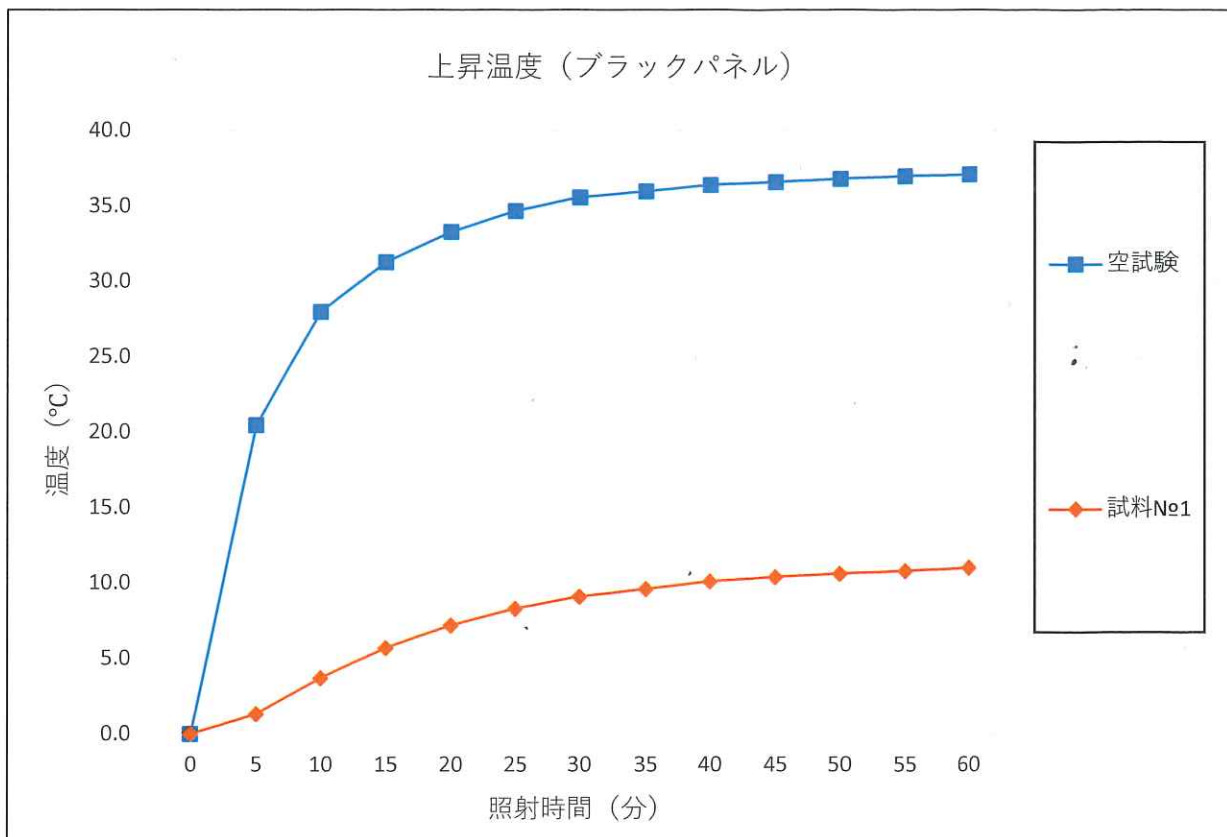


記

[試験結果]

照射 時間 (分)	上昇温度 (℃)			
	空試験		試料No.1	
			UV103WIDCAP66	
	ブラックパネル	試験槽内	ブラックパネル	試験槽内
0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	20.5	7.2	1.3	0.4
10	28.0	12.3	3.7	2.0
15	31.3	15.3	5.7	3.6
20	33.3	17.4	7.2	4.9
25	34.7	18.7	8.3	5.9
30	35.6	19.6	9.1	6.7
35	36.0	20.2	9.6	7.3
40	36.4	20.5	10.1	7.7
45	36.6	20.8	10.4	8.0
50	36.8	21.2	10.6	8.2
55	37.0	21.4	10.8	8.4
60	37.1	21.5	11.0	8.5
上昇 温度差 (℃)			26.1	13.0
断熱 効果率 (%)			70.4	60.5
目付 (g/m ²)				

[グラフ]



[試験方法]

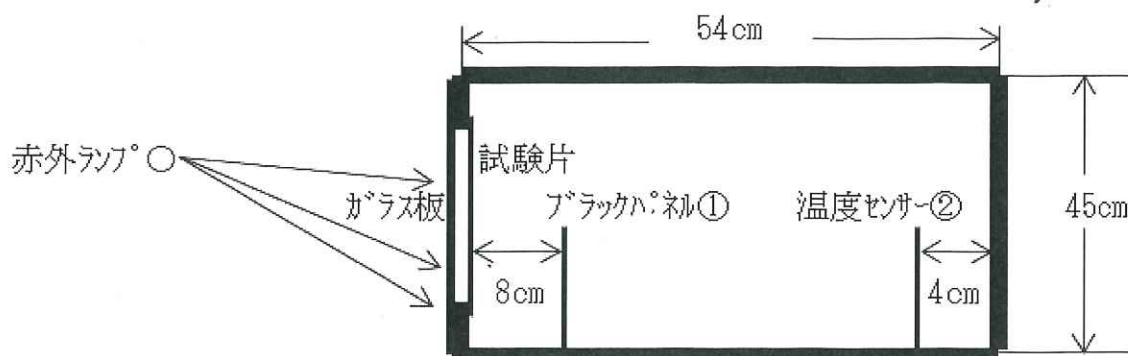
断熱性試験（赤外線ランプ 60℃法）

下図の装置に約50cm×40cmの試験片を吊るし、ガラス板より約50cm離れたところに赤外線ランプを設置し、試験片の表側より8cmの位置にブラックパネル①、ガラス面反対側の壁面より4cmの位置に温度センサー②を設置する。赤外線ランプを60分間照射し、5分毎にブラックパネル温度及び試験槽内温度を測定する。また、試験片を吊るさない空試験も実施する。

- 断熱効果率は、空試験の最大値と試験片試験の最大値から下記の式で求める。

上昇温度差(℃) = 空試験の最大上昇温度(℃) - 試験片試験の最大上昇温度(℃)

断熱効果率(%) = (空試験の最大上昇温度 - 試験片試験の最大上昇温度) / 空試験の最大上昇温度 × 100



試験装置のサイズ 54×54×45cm(0.131m³)

・測定条件

環境温度：25.0±1.0℃

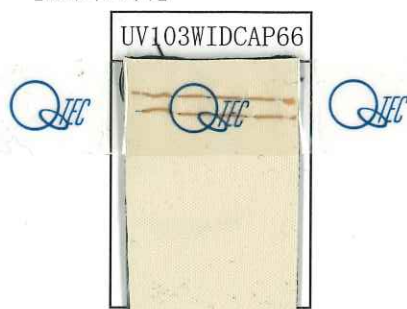
初期温度：ブラックパネル 25.0±0.5℃

試験槽内 25.0±0.5℃

有効空試験条件：ブラックパネル最大上昇温度 37.0±0.5℃

試験槽内最大上昇温度 22.0±0.5℃

[提出試料]



※照射面を上にして貼付。